

北海道経済産業局支援事業

1. 岩見沢農業高校グローバル GAP 認証取得

(1) 支援背景

北海道経済産業局では、北海道の「食」関連産業の稼ぐ力の向上のために、「食の生産性向上」を推進しており、この一環で平成 29 年度に、岩見沢農業高校のグローバル GAP 認証の取得を通じた人材育成や I T を活用した営農管理などの取組を、モデル事業としてサポートした。



(2) 岩見沢農業高校のグローバル GAP 認証取得

岩見沢農業高校では、平成 29 年 9 月に、SGS ジャパン(株)からグローバル GAP の審査を受け、11 月に国内同時取得では最多となる 9 品目で認証を取得。

【グローバル GAP 認証を取得した農産物】

- (平成 29 年度) 米、大豆、トウモロコシ、サツマイモ、トマト、ホウレンソウ、長ネギ、ニンニク、タマネギ
- (平成 30 年度) 29 年度の 9 品目に、カボチャを追加し、12 月に 10 品目で認証を取得予定。

【参考：グローバル GAP 認証体数】

- (世界) 約 19 万経営体、(日本) 約 630 経営体 (平成 30 年 6 月末時点/GAP 普及推進機構)
- (日本の農業高校) 11 校 (うち北海道の高校) 2 校 (岩見沢農業高校、士幌高校)
- (平成 30 年 11 月時点/農林水産省)

2. (株) もりもと「北海道産原材料を使用した菓子開発による海外需要獲得事業」

【平成 30 年度地域中核企業創出・支援事業】(事業統括：(株)道銀地域総合研究所)

【地域中核企業】(株)もりもと(千歳市)

- ・和菓子、洋菓子、パンなど幅広い商品開発力を有し、常時 400 種類以上の商品を製造販売。
- ・北海道の産地や特産に精通し、北海道産原材料の魅力を際立たせた商品を開発。

【強み、これまでの取組の成果】

- ・生産者や農協、加工、流通業者等 100 社以上の企業(うち 8 割が道内)との幅広い取引関係を形成。
- ・平成 28・29 年度に、工場のグランドデザイン・運営プラン策定を実施。平成 30 年 3 月、千歳第一工場を「見学・体験型工場」に改装するとともに、インバウンドの受入を開始。
- ・平成 29 年度、GAP 農産物(すいか)を活用した商品開発を行い、平成 30 年 3 月にはテスト販売を実施。平成 30 年 6 月 1 日から本格販売を開始。 →



【平成 30 年度の取組内容】

(1) 輸出拡大に向けた新商品・技術開発

国際競技大会への商品供給や輸出拡大を目指し、GAP 農産物を発掘・活用し、自社の HACCP 認証ラインで製造するなど、国際規格にのっとった商品づくりを行う。また、海外展開に必要な、賞味期限を長期化する冷凍技術開発を行う。

(2) 道外・海外観光客需要に訴求するプロモーションの実施

平成 29 年度に整備した見学・体験型工場を活用して、工場と産地などを巡るツアーの企画や実証を行い、道外・海外観光客に訴求するプロモーションを実施。